

世田谷区長 保坂 展人様

2020年4月6日

日本共産党世田谷区議団



新 BOP 学童クラブについての申し入れ

今般のコロナウイルス感染拡大において、区民の命と暮らしを守る立場で、区長を先頭に現場職員の方々が多大なご尽力・ご奮闘されていることに、心から敬意を表するものです。

区議団としても、この難局を乗り切るため、共に力を合わせていく所存です。

この立場で、本日は新 BOP 学童クラブに関して、要望します。

3日夜の突然の運営休止に多くの保護者が驚き、戸惑い・不安を感じています。

未だ多くの事業所が通常営業をしている中で、家庭で養育が出来ない子どもの受入場所である学童が休止されることに、本日から対応できない家庭が多くあります。

また、保護者への周知もホームページで先ず発表され、そこから一斉メールなど、丁寧さを欠き、準備や周知期間また保護者の意向調査等行われぬ迅速な対応と考えています。こうした緊急時だからこそ、なぜ週明けすぐに休止しなくてはならないのか、保護者や区民が納得・協力できるよう、丁寧な周知・説明・対応について、可能な限りの努力を求めるものです。

また、学童の過密化を防ぎ、子どもや職員の感染予防と、子どもの生活の質確保の観点から、出来得る限りの対応を求め、以下申し入れます。

記

一、 利用できる家庭について、ホームページ上で例示がされているが、例示外の家庭については各 BOP が児童課へ確認ということになっている。例示外の家庭であっても、学童を必要とする家庭があることから、丁寧に状況を聞き取り、必要とする子どもを受け入れること。

一、 ホームページや学校からの一斉メールで保護者の周知をしているが、保護者の理解と協力を得るためにも、丁寧に分かりやすい説明と周知に努めること。

一、 学童の感染予防に関して、感染リスクを低減する対策を、保健所とも協議しながら、

適宜見直し、チェックする等対応強化を図ること。(検温チェック、手洗い・うがいの小まめな励行、換気、ドアの取っ手や机など人が良く触れるところについて、こまめな消毒。学校スペースの更なる活用。)

一、 感染予防のためにも、指導員体制の充実が重要である。特に大規模校への児童館職員の重点配置等柔軟で機動的対応を図ること。必要であれば非常勤・アルバイト職員の更なる活用を図ること。

一、 今後、国や都による、緊急事態宣言発令も想定されるが、医療機関など学童を必要とする家庭は、引き続き受け入れを行うこと。なお、その際、どのような家庭を受け入れる、またどのように学童を運営するかにあたっては、何より子どもの状況や保護者の働き方等を考慮し、柔軟に対応すること。

以上